

2018 vol.130

わかの京都

(公社)京都府青少年育成協会
 京都市上京区出水通小路東入丁下風呂町104-2
 京都府庁西別館
 TEL 075-417-0602 FAX 075-417-0603
 E-mail: kpyda@ccllo.ocn.ne.jp

青少年健全育成の取組を進める標語(スローガン)

気づいてる? あなたのまわりのあたたかさ

京都府青少年育成協会は、協会創立50周年記念事業として、今後の青少年の健全育成府民運動を進める標語(スローガン)を制定しました。

ごあいさつ

皆様方におかれましては、日頃から、青少年の健全育成に御尽力いただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

また、昨年10月の当協会創立50周年記念大会開催に当たりましては、格別の御理解と御協力を賜りましたことに、厚くお礼申し上げます。

記念大会開催当日は、予期せぬ衆議院総選挙の実施日となった上、更に予期せぬ大型台風が襲来し、どうなるものかと心配いたしました。滞りなく実施することができました。足元の悪い中、500名の参加を得て、成功裡に終えることができましたのも、偏に皆様方のお陰であると感謝しております。誠にありがとうございました。

様々な機会に「創立50周年を契機として、また新たな出発を図りたい」と申し出て参りましたが、その第一歩が、当協会が指定管理者として運営しております「京都府立青少年海洋センター(マリンピア)」のリニューアルでございます。

マリンピアは、1979年の国際児童年を記念して、未来を担う青少年が海を知り、海に親しみながら、研修と海洋活動を通じて心身ともに健全な育成をはかるための施設として設置されたもので、今年で設立38年目を迎えます。

これを機に、海洋活動に軸足を置きつつ、より総合的な運動施設としてリニューアルすることとなりました。

具体的には、「スポーツクライミング」の一つである「ボルダリング」用クライミング・ボードの新設、トレーニング機器の配備、雨天にも対応の野外炊事施設の新設に加え、体育館の冷房暖房設備の新設等、機能強化を図るとともに、より利便性の高い施設に生まれ変わります。

平成30年4月29日(日)に、そのお披露目を兼ねて無料公開を予定しておりますので、皆様方におかれましては、是非この機会に新装マリンピアを訪れていただき、その魅力に触れていただければ、と思っております。

本年も、どうぞよろしく願いたします。

公益社団法人 京都府青少年育成協会会長 勝間 虎一郎



- | | |
|---|---|
| <p>P.1 会長あいさつ 2~9 記念大会特集 2 大会概要 3 大会写真 4 大会写真 5 功労者感謝状贈呈 青少年健全育成に係る標語(スローガン)募集事業 6 大会記念講演・府民へのアピール採択 7・8 青少年育成府民運動50年のあゆみ 9 創立50周年記念事業御協力 企業・団体・個人の皆様 10・11 平成29年度第2回理事会の開催 平成30年度事業計画・予算を決定 12・13 第39回「少年の主張京都府大会」 14 第21回「明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」</p> | <p>15 平成29年度「京都府青少年すこやかフォーラム」 京都府青少年育成功労者表彰 平成29年度いじめ・非行防止フォーラム 16 青少年育成市町村民会議の活動紹介(北から南から) *南丹市青少年育成協会 *向日市青少年健全育成連絡協議会 17 青少年関係団体の紹介 *福知山市少年補導委員連絡協議会 *京都市ユースサービス協会 18 京都府からのお知らせ 「青少年の健全な育成に関する条例」一部改正 「青少年いいねッ京(みやこ)フォーラム」 平成29年度青少年育成市町村民会議懇談会 ほか 19 京都府立青少年海洋センター(マリンピア) 20 Information 第40回「少年の主張 京都大会」 第22回「明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」 事業案内 入会案内 あとがき etc.</p> |
|---|---|

創立50周年記念大会特集

日時 平成29年10月22日(日) 13:00~15:45

場所 京都府総合見本市会館(京都パルスプラザ)「稲盛ホール」

◆オープニング 京都府立西城陽高等学校 合唱部

第1部 記念式典

◆開会行事

あいさつ 会長 勝間 喜一郎
来賓祝辞 京都府知事 山田 啓二 様
(来賓紹介)

◆功労者感謝状贈呈

- ◆青少年健全育成に係る「標語」(スローガン)入賞作品表彰、感謝状贈呈
- ◆青少年育成府民運動50年のあゆみの報告
- ◆第39回少年の主張京都府大会「京都府知事賞」受賞作品の発表



勝間会長あいさつ

第2部 記念講演

「優しさと勇気の育てかた 一夜回り先生、いのちの授業」

講師 水谷 修 氏(花園大学客員教授)

府民へのアピール

◆閉会

あいさつ 副会長 篠田 常生

大会概要

ご挨拶

公益社団法人
京都府青少年育成協会会長 **勝間 喜一郎**

公益社団法人京都府青少年育成協会は、昭和42年9月に「青少年育成京都府民会議」として発足して以来、半世紀に渡り京都府における青少年の健全な成長を願い、地域社会に課せられた使命と役割を果たすため、青少年の健全育成府民運動を推進して参りました。

昭和44年に社団法人になり、平成25年に公益社団法人への移行を経て、本年50周年の節目を迎えることができました。これも偏に、青少年健全育成に日々御尽力されてきた青少年育成都市町村民会議や青少年育成関係団体を始めとする関係機関・団体の皆様方の深い御理解と御協力の賜と、厚くお礼申し上げます。

この50年の歴史の中で、青少年を取り巻く社会環境は大きく変化し、青少年犯罪の凶悪化や低年齢化、いじめやひきこもりの増大、更にはインターネットの普及に伴う新たな課題、特にスマートフォンの急速な普及によるトラブル等の増加、そして児童虐待の多発や薬物乱用、子どもの貧困問題など、青少年を巡る問題の複雑化・多様化に即対応が求められています。

このような状況の中で、50周年を機に、「今私たちに何が求められているのか、その役割をどう果たして行くのか」を考え、運動の更なる推進を図り、健全な地域社会づくりに向け全力を尽くして参る所存でございます。

今後共、私ども協会に対し、関係の皆様方の御支援・御協力の程をよろしくお願い申し上げます。

青少年育成府民運動50周年を祝して

京都府知事 **山田 啓二**

公益社団法人京都府青少年育成協会が大きな節目となる50周年を迎えられたことを、心からお祝い申し上げます。また、勝間会長様をはじめ、歴代の関係者の皆様方の永年にわたる御熱意と御努力に、心から感謝申し上げます。

貴協会は、次代を担う青少年の健全育成を進める青少年育成府民運動の母体として、市町村民会議や関係団体等と連携し、啓発活動や大人が変われば子どもも変わる運動など、様々な青少年育成活動に積極的に取り組んでこられました。

昨今、地域の連帯感や人と人との関係が希薄化する中、少年非行問題をはじめ、不登校やいじめ問題の深刻化、スマートフォンやSNSの急速な普及に伴う悪影響やトラブルの増加など、青少年を取り巻く環境は厳しさを増しており、大きな社会問題となっております。

このような時代だからこそ、子どもたちが将来に対して夢や希望を持つことができる社会を築いていくことは何よりも大切であり、我々大人の大きな責務でもあります。

京都府におきましても、青少年が安心して健やかに育ち、心豊かな生活が送れるよう、引き続き皆様と連携し、夢や希望を持てる社会づくりに全力を挙げてまいり所存ですので、皆様方の一層の御協力をお願い申し上げます。

これからも、青少年育成府民運動に一層御活躍されることを御期待申し上げますとともに、貴協会並びに会員の皆様方のますますの御繁栄と御多幸を心から祈念いたします。

※紙面の都合上、京都府教育委員会新本教育長以下6名のメッセージの掲載は省略しました。

大会写真

公益社団法人 京都府青少年育成協会創立50周年記念大会



オープニング 京都府立西城陽高等学校 合唱部



勝間会長 挨拶



山内副知事 知事祝辞



主催者



来賓



功労者感謝状贈呈



功労者謝辞



功労者感謝状贈呈



青少年健全育成に係る
「標語」(スローガン)募集事業 入賞作品表彰



青少年健全育成に係る
「標語」(スローガン)募集事業感謝状贈呈



第39回少年の主張京都府大会
「京都府知事賞」受賞作文の発表



青少年育成府民運動50年のあゆみの報告(高岡副会長)



記念講演 水谷氏



記念講演 謝辞(高副会長)



看板



府民へのアピール



受付風景



会場風景

公益社団法人京都府青少年育成協会創立50周年記念 功労者感謝状贈呈

長年にわたり、協会の役員として御尽力いただきました4人の方に感謝状を贈呈しました。

西村 佳子氏 平成11年6月から15年間にわたり理事として協会の運営に御尽力された。

田崎 仁志氏 平成13年6月から16年間にわたり理事として現在も協会の運営に御尽力されている。

栗田 澄子氏 平成17年6月から10年間にわたり理事として協会の運営に御尽力された。

宮本 英樹氏 平成18年6月から11年間にわたり理事として現在も協会の運営に御尽力されている。



青少年健全育成に係る標語(スローガン)募集事業 入賞作品及び入賞者

京都府青少年育成協会は、協会創立50周年記念事業として、府内の高校生を対象に、今後の青少年健全育成府民運動を進める標語(スローガン)募集事業を実施しました。

大会当日、入賞者の表彰を行うと共に、募集事業に多大な協力をいただいた府立嵯峨野高等学校及び府立綾部高等学校東分校に対し感謝状を贈呈しました。



🏆 最優秀賞(京都府知事賞)

標語

「気づいてる? あなたのまわりの あたたかさ」

(京都府立嵯峨野高等学校3年 吉岡 奈保さん)

🏆 優秀賞(京都府青少年育成協会会長賞)

標語 「家庭と地域 大人と子ども 支え合って 素晴らしい」

京都府立嵯峨野高等学校1年 藤野 愛充さん

標語 「1人じゃない あなたを支える 大人たち」

京都府立洛東高等学校2年 門 龍成さん

標語 「あいさつが 広がっていくよ 地域の輪」

京都府立洛東高等学校1年 西森 遙香さん

標語 「周りみて いろんな人が 支えてる」

京都府立茨田高等学校2年 守岡 優さん

標語 「見守ろう 地域が1つの大きな家庭」

京都府立綾部高等学校東分校3年 吉河奈々子さん



第39回少年の主張京都府大会 「京都府知事賞」受賞作品の発表

平成29年9月24日(日)に京都府立総合社会福祉会館で開催した第39回少年の主張京都府大会で京都府知事賞を受賞した京都市立春H丘中学校3年中山ルーナさんの作品「ハーフ?ダブル?本当のは?」を記念大会会場で発表していただきました。



大会記念講演

「優しさと勇気の育てかた
— 夜回り先生、いのちの授業 —」

講師 水谷 修氏 [花園大学客員教授]



視聴感想

水谷先生と出会って救われた人はどれだけいるのでしょうか。

教員として定時制高校で生徒指導の担当となって、様々な課題を持つ子どもたちと出会い、非行・薬物汚染・心の問題に直面してしまったことが縁で夜回りを26年間続けられていることは本当にすごいことだと思います。

最近、大阪を中心に関西でも、駅周辺で夜回りも行っておられるとのことで、京都の子どもたちが水谷先生と出会い、1人でも多くの子どもたちが救われることを願います。

また、児童養護施設で様々な課題を持つ子どもたちとも関わる中で、最近では昼の世界に夜の世界が侵食してきていると聞き、危機感を持ちました。ふと、そうならないためにはどうしたらいいのかと考えていると、水谷先生が子どもは愛情が大切です。特にほめることが重要であると思います。親子喧嘩はしてはいけません。10褒めて1叱るくらいでなくてはいけません。今の日本、心が病んでいる人が多すぎます。このままでは日本はダメになります。心の病は身体から見直さなくてはいけません。規則正しい生活をするのが大切です。人は昼に活動し、夜に休む(寝る)生き物です。美しい物を朝に見ると、その人も美しくなります。美しいもの探しをすると心が豊かになります。体力を使うからしっかり休むのです。そうすれば、夜に出歩くこともなくなります。課題を持つ子どもたちは、それができないから夜出歩くのです。子どもたちを叱るのではなく、私たち大人が意識を変える必要があります。子どもを変えるのではなく、子どもの周りの環境を変えることが大切です。と語られた言葉が強く胸に刺さり、心が動きました。これからの青少年活動に繋げていけるとても素晴らしい講演でした。



協会創立50周年記念大会において
「府民へのアピール」を採択しました

記念大会の記念講演の後、日本ボーイスカウト京都連盟団員「松井 天」君が提案し、参加者全員の賛同で「府民へのアピール」を採択しました。

公益社団法人京都府青少年育成協会は、京都府における青少年の健やかな成長を願い、地域社会に課せられた使命と役割を果たすため、府民による青少年の健全育成運動を推進し、本年9月に50周年を迎えました。

この間の急激な社会の変化は、家庭や地域の教育力を低下させ、青少年を巡っては、スマートフォンやインターネットの普及、青少年犯罪の凶悪化や低年齢化、いじめや引きこもりの増大、更には児童虐待や薬物乱用、子どもの貧困問題など様々な問題が深刻化しています。

そうした中、同や京都府においても青少年問題への総合的な対策が講じられているところですが、青少年問題は大人社会の反映であり、青少年の健全育成は、親・大人・地域社会の責務であります。全ての大人は、このことを責務に受け止め、「今、私たちに何が求められているのか。そして、今後その役割をどう果たしていくのか。」を考え・行動することが求められています。

ここで私たちは、協会創立50周年記念大会を機に、青少年育成府民運動の使命の重要性を再認識し、新たな運動のスローガン「気づいてる? あなたのまわりの あたたかさ」のもと、京都府や関係機関、青少年育成市町村民会議、青少年育成関係団体等との連携・協働をより強め、「明るい家庭と地域の輪が育てる心豊かな青少年」を合言葉に、青少年をあたたく見守り、その健やかな成長を支援する健全な社会づくりを目指して、次の50年へ向け、新たなスタートを切ります。


平成29年10月22日

公益社団法人京都府青少年育成協会創立50周年記念大会

青少年育成府民運動50年のあゆみ

| 年度 | 社会状況 | 京都府青少年育成協会のおゆみ | 京都府の青少年行政 |
|----|--|--|---|
| 40 | 「青少年の健全育成と非行防止対策」が閣議決定 | | |
| 41 | 青少年育成国民会議発足 | | |
| 42 | | 青少年育成京都府民会議結成(9月4日) | |
| 43 | | 青少年育成京都府民会議から青少年をそだてる京都会議に名称変更 | |
| 44 | | 青少年を育てる京都会議を社団法人化へ(9月27日) | 京都府青少年育成推進推進員設置条例の制定(6月)(後に設置条例となる)推進指針の設置(～昭和62年度) |
| 46 | | 青少年育成市町村民会議の結成あいつぐ(舞鶴市例) | |
| 50 | | | 京都府青年会館オープン(～平成14年度) |
| 51 | | 広報誌「わかもの京都」創刊 | |
| 53 | 11月を「全国青少年健全育成強調月間」に制定 | | |
| 54 | 国際児童年 | 「少年の主張」大会事業を開始 | |
| 56 | 国際障害者年 7-8月を「青少年を非行から守る国民運動推進期間」に制定 | 青少年の健全な育成をめざす京都府民大会の開始 | 青少年の健全な育成に関する条例・施行 |
| 57 | 「青少年の非行防止対策」閣議決定 | 青少年を育てる京都会議から京都府青少年育成協会に名称変更 京都府立青少年海洋センターの管理・運営を委託(～平成18年度) | 京都府立青少年海洋センターオープン(5月)(設備・マリーンピア) |
| 58 | | 環境浄化推進委員会を設置(～昭和62年度) | |
| 60 | 国際青年年 | 京都国際青年年のつどい開催(京都国際会館) | |
| 61 | | 京都府立宮津ヨットハーバーの管理・運営を委託(～平成18年度) | 京都府立宮津ヨットハーバーオープン(～平成18年度) |
| 62 | | 青少年育成府民運動20周年記念事業の開催 | 青年のつどいの開催 |
| 元 | | 「未来くんあつまれ!!!ふるさと京都府を見る旅」事業の開始(～平成11年度) 「あそびの博物館」開催(～平成5年度) | |
| 2 | | | 「京都府青少年プラン」の策定 |
| 6 | 国際家庭年 伊都1200年 児童の権利に関する条約・批准発効 | 「京都府こどもフェスティバル」(～平成11年度) 「青少年育成府民運動推進条例」を定める | |
| 7 | | 明るい家庭づくり運動の実施(毎月第4土曜日を「家庭の日」に定める) 「明るい家庭づくり絵画展」事業を開始 テレック等営業の規制を求める要望活動を展開 | |
| 8 | 「青少年育成国民運動」提唱30年 運動の愛称「のびのび・ユースネット」発表 | (財)京都府青年会館との統合 | |
| 9 | | 青少年育成府民運動30周年記念事業の開催 | |
| 10 | 青少年の心を育てるキャンペーン 「大人が変われば子どもも変わる運動」を提唱 | 「大人が変われば子どもも変わる運動」の展開 | |
| 12 | | | 「新京都府青少年プラン」の策定 |
| 13 | ポランディア国際年 | 青少年健全育成巡回員の設置(～平成16年度)(京都府共催) | 青少年健全育成審議会設置 |

青少年育成府民運動50年のあゆみ

| 年度 | 社会状況 | 京都府青少年育成協会のおゆみ | 京都府の青少年行政 |
|----|---|--|--|
| 15 | 「青少年育成施策大綱」の策定 | 事務局を京都府民総合交流プラザ東館2階の室に移動 「俳句・短歌で人とのふれあいを」事業の開始(～平成25年度) | |
| 16 | | 青少年「こやか地域支援ネットワーク事業(体験コーディネーター設置)」の開始(京都府共催)(～平成20年度) | |
| 17 | | 青少年育成府民運動の展開のための街頭啓発活動の開始(～継続中) | 「青少年の社会的自立支援プラン」の策定(19年度改定) |
| 18 | | 京都府立青少年海洋センター(～継続中) | 富津ヨットハーバーの指定管理者となる 京都府情報モラルポータルサイトの設置 京都府ひきこもり支援情報ポータルサイトの設置 |
| 19 | | 「青少年育成府民運動発足40周年記念大会」開催 | 「青少年」元気な活動応援プラン」の策定 |
| 20 | 「青少年インターネット環境整備法」の施行(平成22年度改正) 新しい「青少年育成施策大綱」の策定 | 事務局を京都府庁西別館3階の一室に移動 メールマガジン「わかもの京都」の発行(～平成25年度) | |
| 21 | 「了どわ・若者育成支援推進法」の施行 | 青少年「こやか体験活動リポート」事業の開始(～平成23年度) 「青少年健全育成条例規制対象店舗調査事業」の実施 | 「京都府子ども議会」開催(隔年度実施)(育成協共催) 「青少年「こやか」育成プラン」の策定 |
| 22 | 「了ども・若者ビジョン」の策定 | | |
| 23 | | 「青少年ケータイ安全教室」の開催(～継続中) | |
| 24 | 「自殺総合対策大綱」の策定 | 「青少年立ち寄り」対応巡回事業」の開催 京都府知事から薬物乱用防止への取組に対し感謝状の贈呈 | 立ち寄り支援チーム(ユース・アシスト)の設置 |
| 25 | 第四次薬物乱用防止五か年戦略 子どもの貧困対策の推進に関する法律成立 | 社団法人から公益社団法人へ移行 「いじめ・非行防止キャンペーン」「いじめ・非行防止フォーラム」の実施(～継続中) 「自決の森」事業」の開始(～平成26年度) 「青少年健全育成地域連携推進事業」の実施(～継続中) | |
| 26 | 「危険ドラッグの乱用の根絶のための緊急対策」の策定 「子供の貧困対策に関する大綱」の策定 | | |
| 27 | 「子供・若者育成支援推進大綱」の策定 | 「青少年「こやか」フォーラム」から「京都府青少年「こやか」フォーラム」へ事業名の変更(継続中) | 青少年のネットトラブル相談窓口「相談してねっと」の開設 |
| 28 | 「児童の性的搾取に係る対策に関する関係府庁庁長官会議」の設置  | 「青少年健全育成推進のための街頭啓発活動」強調月間 テーマの決定 ●(7月)「青少年非行・被害防止全国強調月間」 in KYOTO ●(11月)「子ども・若者育成支援強調月間」 in KYOTO 内閣府から青少年健全育成国民運動50周年を記念し、長年に渡る青少年の育成に関する活動に対し、感謝状を打交 | オール京都で子どもを守るインターネット利用対策協議会の設置 |
| 29 | | 「(公社)京都府青少年育成協会創立50周年記念大会」開催 京都府青少年健全育成府民運動スローガンの決定 「気づいてる? あなたのまわりの あたたかさ」 | 「ひきこもり支援センター」の設置 「相談してねっと」を「青少年ネット被害相談窓口」に移行 |



公益社団法人京都府青少年育成協会創立50周年記念事業に 御協力いただいた企業・団体・個人の皆様

御協力ありがとうございました。
お名前を記載し、お礼に代えさせていただきます。

(公社)京都府青少年育成協会

企業・団体の皆様(申込順) 27社(団体)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 京都市子ども会育成連絡協議会 | 株式会社 ロマンライブ |
| 株式会社 高布 | 株式会社 萬誠社 |
| 京銀リース・キャピタル株式会社 | 医療法人 大山医院 |
| 株式会社 片岡製作所 | 医療法人 啓信会 |
| 宗教法人 無学寺 | 賀茂御祖神社 |
| 宗教法人 詩仙堂丈山寺 | オリックス・ファシリテーズ株式会社 |
| 宗教法人 天寧寺 | (公財)片山家能楽・京舞保存財団 |
| 京都青少年活動推進会議OB会 | 京都中央信用金庫 |
| 京都青果合同株式会社 | 株式会社 美濃吉 |
| 榮春寺 | 株式会社 進々堂 |
| 株式会社 学生ハウジング | 株式会社 京都パープルサンガ |
| 株式会社 山仲工業所 | 株式会社 寫石材 |
| ユース21京都 | 菊水食品株式会社 |
| 株式会社 一保堂茶舗 | |

個人の皆様(申込順) 75名

- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|--------------------|----------------------|--------------------|---------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|--------------------|
| 西篠小三勝木馬藤長奥西堀久竹石村杭坂中 | 村田林宅間下場原砂野村尾口内橋重迫部嵩 | 住常哲悦喜 俊公佳 信 展之裕勝柏一重 | 子生夫子郎均文子明浩行隆史成志則樹夫男 | 宮森久足加中俣片谷藤前西大黒佐川寺木田 | 井田野立藤井 岡口堂田村槻川伯村井村中 | 宏恵成健善昌昌宏義稔正善武正希隆 安雅 | 明三人司彦美祐二隆之彦行司夫彦史正輝 | 上橋中渡平城羽絹野三田永風中末中出西永安 | 田嶋部岡茂谷川口村井間澤永川中川井田 | 両重上隆弘右衛門暗 耕康崇裕忠 多鶴 輝定英佐保子 | 四九守夫行門雄定一正博継嗣寛子子彦行子 | 大田新左片山井駒押公小太山山大寫矢佐長 | 熊崎川近九郎上井切文林田科田同 野野川 | 仁豊幸右衛門八千 杏俊正和隆高一繁明延佐喜 | 晋志実広門代潤子一典夫雄上生行彦江男 |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|--------------------|----------------------|--------------------|---------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|--------------------|

平成29年度 第2回理事会を開催

平成30年3月16日

平成30年度 事業計画と 予算が承認されました！



平成30年度の主な事業

青少年育成府民運動の推進等

- 青少年健全育成のための街頭啓発活動
青少年(育成)団体等と連携・協働し、全国強調月間(7月・11月)など効果的な時期に街頭啓発・ミニコンサート等を実施します。
- 「大人が変われば子どもも変わる運動」の推進
- 「青少年スマホ・ケータイ安全教室」の開催
- 「青少年育成市町村民会議懇談会」(6~7月)の開催
- 「青少年健全育成地域活動推進事業」の実施
「京都府青少年すこやかフォーラム」の開催
*京都会場/平成30年10月27日(土)西本願寺岡法公館
*城陽会場/平成31年1月26日(土)文化パルク城陽
- 広報、情報提供事業



(現役員体制)
〔任期：平成31年度定時総会まで〕

| 役職 | 氏名 | 学歴経歴者 |
|-----|--------|---------------------|
| 会長 | 藤田 龍生 | 日本ボイスカウト京都協議会副委員長 |
| 副会長 | 高橋 隆行 | 宇治市青少年健全育成協議会会長 |
| 〃 | 高田 いずみ | 京都府PTA協議会副会長 |
| 常任 | 井上 正樹 | 富津市長 |
| 〃 | 岡本 誠 | 京都市市町村教育委員会連合会事務局長 |
| 〃 | 川村 隆史 | 京都府スポーツ少年団事務局長 |
| 〃 | 久保川 芳弘 | 京都市PTA協議会副会長 |
| 〃 | 角 藤 泰弘 | 舞鶴子ども育成文化協議会会長 |
| 〃 | 山崎 仁志 | 京都府青少年協議会副会長 |
| 〃 | 田中 悠 | 京都府町村協議会副会長 |
| 〃 | 田中 謙子 | 京都府府民生活部青少年課長 |
| 〃 | 寺井 正 | 京都市社会事業局長 |
| 〃 | 寺本 千鶴子 | (一社)ガールズクラブ京都府連盟副会長 |
| 〃 | 中川 真美子 | 京都府地域女性連合会副会長 |

| 理事 | 氏名 | 職歴 |
|------|--------|----------------------|
| 〃 | 中西 定彦 | 京都府山村協議会副会長 |
| 〃 | 船橋 浩彦 | 京都府公立中学校校長会会長兼協議会副会長 |
| 〃 | 日比野 敏雄 | 京都府南社協議会「南社協議会」 |
| 〃 | 藤原 公子 | 京都府都市婦人会連盟 |
| 〃 | 松山 晋 | (公社)京都青年会議所理事 |
| 〃 | 三宅 俊子 | 八幡市山田地区民生児童協議会会長 |
| 〃 | 宮本 英樹 | (株)京都放送建設局副社長 |
| 〃 | 村上 勝則 | 京都府子ども若者若くはくみ局副会長 |
| 〃 | 夏田 佳保子 | 京都府教育庁生涯社会教育課長 |
| 常任理事 | 木下 均 | (公社)京都府青少年育成協会事務局長 |
| 〃 | 馬場 健文 | 京都府立青少年海外センター所長 |
| 監事 | 野口 謙 | (一財)今日の子協理 |
| 〃 | 栗野 浩 | 京阪バス・ホテル(株)社長 |

(平成30年3月1日現在)

青少年の自主活動・社会参加の促進、活動支援

- 「第40回少年の主張京都府大会」の開催 ● 青少年団体等への活動支援
- 応募締切 平成30年8月3日(金)
- 大会 期日/平成30年9月23日(日・祝)
- 場所/京都府立総合社会福祉会館(ハートピア京都)



明るい家庭づくり運動の推進

- 明るい家庭づくり運動の普及・推進
- 「第22回明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」の実施
- 応募締切 平成30年9月10日(月) 表彰、府内各地で入賞作品の巡回展示



青少年の問題行動の防止、非行対策及び社会環境浄化の推進

- 「青少年の非行・被害防止全国強調月間(7月)」及び ● 京都府青少年健全育成成功労者等知事表彰<京都府事業>
- 「子供・若者育成支援強調月間(11月)」の取組 ● 「青少年の健全な育成に関する条例」の趣旨に基づく社会環境浄化の推進
- 京都府青少年健全育成審議会<京都府設置> ● 各団体事業等への共催・参加協力

会員団体との連携・活動支援

- 青少年の育成に関する講座等の開催支援 ● 会員団体等の活動に対する助言、共催・後援等
- 啓発資材等の貸出

その他

- 内閣府主催の研修(会議)等への参加
- 公益社団法人の運営(総会・理事会の開催)
- 財形基盤の充実



(公社)京都府青少年育成協会創立50周年記念 平成29年度青少年育成府民運動の推進に伴う 街頭啓発活動の実施

7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」と11月の「子供・若者育成支援強調月間」に併せて、京都府の青少年の問題行動の防止や非行対策及び社会環境浄化など、青少年健全育成推進のための街頭啓発活動を府内青少年関係団体や青少年育成市町村民会議、京都府立の高校生、京都市立の中学生、京都府内の大学生の方々やゆるキャラたちと一緒に実施しました。



7月「青少年の非行・被害防止全国強調月間」in KYOTOの開催

| 実施日 | 実施場所 |
|----------|---|
| 7月 8日(土) | 四条河原町(京都マルイ1階ピロティ) (知事・高校生メッセージ・ミニコンサート&啓発活動等) |
| 7月21日(金) | JR京都駅 駅前広場(啓発活動) |
| 7月22日(土) | 西京極運動公園(啓発活動・パレード) |



西京極運動公園



四条河原町



ミニコンサート



メッセージ



京都マルイ

11月「子供・若者育成支援強調月間」in KYOTOの開催

| 実施日 | 実施場所 |
|-----------|--|
| 11月 1日(水) | 四条河原町交差点(啓発活動) |
| 11月11日(土) | イオンモールKYOTO (知事・高校生メッセージ・ミニコンサート&啓発活動等) |
| 11月17日(金) | 四条河原町交差点(啓発活動) |
| 11月18日(土) | 向日市まつり(啓発活動) |
| 11月19日(日) | きょうボラふれあい祭(啓発活動) |
| 11月23日(祝) | 府立植物園(あすKYOフェスタ) |



あいさつ



きょうボラふれあい祭



メッセージ



あすKYOフェスタ



四条河原町



向日市まつり



◇◇共に活動した団体等◇◇ 御協力ありがとうございました。

京都府立山城高等学校 京都府立鞍馬高等学校 京都府立洛東高等学校 京都府立桂高等学校 京都府立洛水高等学校 京都府立京都まほろば高等学校 京都府立東道高等学校 京都市立京都御池中学校 京都女子大学音楽隊「まーぶるくれよん」 ダレノコジャパン ガールスカウト京都府連盟 京都子ども文化会館 京都市地域女性連合会 京都市ユースサポーター協会 京都府更生保護女性連盟 京都府スポーツ少年団 京都府青少年アドバイザー協議会 京都BBS連盟 京都府保護司会連合会 京都ボランティア協会 子どもに残せる社会をつくる会 社会環境浄化京都ネットワーク 日本ボーイスカウト京都府連盟 京都市少年補導委員会 京都府PIA協議会 宇治市青少年健全育成協議会 亀岡市青少年育成地域活動協議会 城陽市青少年健全育成市民会議 向日市青少年健全育成連絡協議会 八幡市青少年育成補導委員会 大山崎町青少年健全育成協議会 八幡市男山地区民生児童委員協議会 京都府警察本部・南警察署 京都府少年サポートセンター 京都府町村会 京都市市町村教育委員会連合会 京都府教育委員会・社会教育課 京都市京都市教育委員会 京都府・広報課・青少年課 京都府青少年育成協会 まゆよろ ポリスまるん。(順不同)

(公社)京都府青少年育成協会創立50周年記念 第39回 少年の主張 京都府大会 開催結果

平成29年9月24日(日)、京都府立総合社会福祉会館(ハートピア京都)にて、「少年の主張京都府大会」を開催しました。

(主催/京都府青少年育成協会・京都府PTA協議会・京都市PTA連絡協議会・国立青少年教育振興機構)



作品募集

府内の中学校及び特別支援学校中等部の中学生から、29校2,890編の作文が寄せられました。

審査

株式会社京都放送の宮本英樹氏を審査委員長に他8名の審査委員による事前審査により、入選15編(発表者)及び佳作30編を選出しました。

大会当日

日本ボーイスカウト京都連盟の松井天くん(中学3年生)、ガールスカウト京都府連盟の藤林もえさん(中学3年生)の司会により進行しました。15名の主張発表者の堂々とした姿に会場の聴衆者は大きな感動を味わいました。厳正な審査の結果、京都府知事賞には「ハーブ?ダブル?本当の私は?」について主張した、京都市立春H丘中学校3年の中山ルーナさんが選ばれました。

アトラクションでは、京都府立嵯峨野高等学校狂言部の披露がありました。

中山さんの主張は、11月に開催された全国大会(主催:独立行政法人国立青少年教育振興機構)に京都府代表として推薦し、審査の結果、中部・近畿ブロック代表として全国大会で発表し、国立青少年教育振興機構奨励賞を受賞されました。

審査結果

- 京都府知事賞
「ハーブ?ダブル?本当の私は?」
- 京都府教育委員会教育長賞
「私の家族」
- 京都市教育長賞
「兄から学んだこと」
- 京都府青少年育成協会会長賞
「障がい者と障害者って...」
- 京都府山形市教育委員会連合会会長賞
「地域の行事を通して感じること」
- 京都府公立中学校長協会会長賞
「糸数屋」
- 京都府PTA協議会会長賞
「闘いの果てに」
- 京都市PTA連絡協議会会長賞
「日本文化の「箱」を守る」
- 京都新聞賞
「未来を創る学び」
- KBS京都賞
「つながる思いやり」
- 京都府青少年育成協会会長奨励賞
「夢を追って生きる
家族をつなぐ「家族新聞」
「努力に目を向けて~みんな「違う」のだから~
吹奏楽で学んだこと
これからの日本を作るために」

- 中山ルーナ 京都市立春山16中学校3年
- 丹生千絵 舞鶴市立城南中学校3年
- 村松聡香 京都光華中学校2年
- 宗川さくら 亀岡市立南楽中学校2年
- 南 風 岷 舞鶴市立加藤中学校2年
- 中川 穂乃 向日市立西ノ岡中学校3年
- 宅間 奈虫 龟岡市立東輝中学校3年
- 花園 優佳 京都府立洛北高等学校附属中学校3年
- 柴垣 萌 和歌山県広域連合立笠置中学校3年
- 松村 佑香 京都府立洛北高等学校附属中学校3年
- 中野 未唯 南丹市立天山中学校3年
- 石倉 燦 旭 京都府立洛北高等学校附属中学校3年
- 木下 理 彩 京都府立洛北高等学校附属中学校2年
- 志 茂 和 香 京都府立洛北高等学校附属中学校2年
- 西村 康介 京都府立同部高等学校附属中学校1年

佳作

- 林田 桃奈 向日市立西ノ岡中学校3年
- 引田 千聖 木津川市立木津南中学校3年
- 池上 結衣 南丹市立真部中学校3年
- 中山 涼香 南丹市立八木中学校3年
- 石川 穂 南丹市立美山中学校3年
- 足立 茜 菜 福知山市立六人部中学校2年
- 伊藤ひかり 舞鶴市立白糸中学校3年
- 藤村 真太 舞鶴市立若浦中学校3年
- 石川 李季 向日市立西ノ岡中学校2年
- 榎原 風音 南丹市立大城中学校2年
- 秋谷 萌香 南丹市立八木中学校3年
- 廣瀬 龍我 南丹市立八木中学校3年
- 中島すみれ 南丹市立美山中学校3年
- 鹿本 美穂 舞鶴市立青葉中学校3年
- 猪野 未穂 舞鶴市立城北中学校3年
- 飛鳥井 翠 京都府立洛北高等学校附属中学校3年
- 石川 花 京都府立洛北高等学校附属中学校3年
- 川本 青汰 京都府立洛北高等学校附属中学校3年
- 白井 貴子 京都府立洛北高等学校附属中学校3年
- 及光 麻結 京都府立洛北高等学校附属中学校3年
- 樋川 透 香 京都府立洛北高等学校附属中学校3年
- 福山紗都子 京都府立洛北高等学校附属中学校3年
- 水谷 聖在子 京都府立洛北高等学校附属中学校3年
- 船越 天翔 京都府立洛北高等学校附属中学校3年
- 古田有希菜 京都府立洛北高等学校附属中学校3年
- 河野 裕加 京都府立同部高等学校附属中学校2年
- 由良 京々 京都府立同部高等学校附属中学校2年
- 内田 大登 京都府立福知山高等学校附属中学校3年
- 川中美優 京都府立同部高等学校附属中学校2年
- 藤原梨々花 京都光華中学校3年



司会



京都府立嵯峨野高等学校 狂言部



全国大会(2017.11.12 東京)

(公社)京都府青少年育成協会創立50周年記念

第39回 「少年の主張京都府大会」 知事賞受賞作文

—全国大会で「国立青少年教育振興機構奨励賞」を受賞—

京都府知事賞

「ハーフ? ダブル? 本当の私は?」

京都市立春日丘中学校3年
中山 ルーナ

日本人の父とフィリピン人の母をもつ私は、半分を意味する「ハーフ」なのか、二つを意味する「ダブル」なのか。少し前まで、自分を中途半端な存在と感じ、私は「ハーフ」と名乗っていました。

私は四年前、日本にきました。日本語や日本の習慣が分からず、知らない世界に一人ぼつんと放り出されたような気がしました。クラスの人に自分の気持ちを伝えられず、どう接すればいいか悩み、みんなを避ける毎日。フィリピンでは友達が多かった私は自信を失っていきました。周りの会話が理解できず、全てが私を悪く言っているよう聞こえました。

しかし、それは大間違いでした。本当は、みんなは私を支えてくれていました。来日から半年経った頃宿泊学習があり、一週間班の人と共に行動しました。みんなは絵やジェスチャー、簡単な日本語で私と必死に会話してくれました。一緒に笑い、一緒に考え活動するうち、今まで見えなかったものが見えてきました。授業中、私が理解できるまで説明してくれる人、日本語や教科を熱心に指導してくださる先生方、みんなは私をからかったり、怒ったりしているわけではなかったのです。それに気づき、「みんなと深くコミュニケーションをとりたい」と、私は日本語の勉強や学習に励みました。

中学に入り吹奏楽部で打楽器を担当しています。去年のコンクール前、急きょ打楽器担当になった人たちのため、私は演奏方法を考え指導しました。いい賞はとれなかったけど、やれることはやったと思いました。その後、部員の投票で部長に選ばれ、自分の努力が認められた喜びと、ハーフの私に部員が付いてくるのかという不安が入り混じりました。そして今年、部員の意見対立からコンクール出場が危うくなり、私が部長でいいのかと悩む一

方、自分にできることをやるしかない話し合いを重ねました。和解除しみんなで舞台上に立てた時「こんな私だけけど役目が果たせた。」と喜びが込み上げてきました。

私の学校にはフィリピンルーツの生徒がいて、一緒に日本語教室で学んでいます。そんな仲間や生徒会と取り組んだフィリピン台風復興支援募金は、私の意識を変えました。私たち日本語教室は、被害状況や国の現状・思いを全校生徒に伝えました。初めは、中学生の私には何もできないと思っていました。また、皆がフィリピンのために協力してくれるのが不安でした。校内募金では、吹雪の中、たくさんの方が募金をしてくれました。校外募金では、私たちのチラシを読んで募金をしてくださる方、私たちの声を聞きつけて来られた方、私が英語で説明すると、外国人観光客の方も協力してくださいました。そしてフィリピンからのお礼のメッセージ。日本の人とも、フィリピンの人とも、他の国の人とも繋がることができたと感じました。

留学生と交流した時、私は自然と英語が出てきて、通じるものを感じました。「いい笑顔。」先生や友達に言われて気づきました。「これがダブルの良さ。」確かに私は言葉だけでなく、生活習慣や感覚の違いなど、日本とフィリピンの両方を自然に受けとめることができます。様々な人との関わりから、「本当の私はダブルなんだ。」と気づくことができました。

私は今、日本とフィリピン両国のことを深く学びたいと思っています。まずは、錆びてきたフィリピン語の力を磨き直したいと思っています。そして将来、二か国語を活かし、日本とフィリピン、他の国にも関わる仕事をし、「私は日本とフィリピンのダブルです。」と胸を張って言いたいと思います。

(公社)京都府青少年育成協会創立50周年記念

第21回「明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」を実施しました



平成29年度「明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」は、小学生の目から見た家族や家庭内での微笑ましいふれあいを絵に描くことやそれを鑑賞することを通して明るい家庭づくりへの気運を高めていこうと平成7年度から実施してきました。本年度は34校336点の心温まる作品の応募をいただきました。

審査の結果、京都府知事賞に岡本胡々さん(京田辺市立普賢寺小学校5年)他入賞者22名と佳作15名が選ばれ、去る3月11日(日)、南丹市国際交流会館(コスモホール)で開催した「京都府青少年すこやかフォーラム」の第1部にて表彰状が授与されました。

また、府内11か所で入賞作品の絵画展を開催しました。



京都府知事賞「イチヨウの木の下で」
京田辺市立普賢寺小学校5年 岡本 胡々



京都府青少年育成協会会長賞「家族とつりに行ったよ」
京都市立元町小学校3年 高坂 渉

入賞者・佳作者のみなさん

京都府知事賞

岡本 胡々 京田辺市立普賢寺小学校5年

京都府青少年育成協会会長賞

高坂 渉 京都市立元町小学校3年

京都府教育委員会教育長賞

塚本 菜月 相楽東部広域連合立和東小学校1年

京都市長賞

寺元 沙帆 京都市立樹徳小学校2年

京都市教育長賞

画川 愛梨 京都市立百々小学校4年

京都府市町村教育委員会連合会会長賞

森川 忠満 精華町立東光小学校4年

京都府小学校校長会会長賞

山口 彩之介 宮津市立吉津小学校6年

京都市小学校長会会長賞

田畑 杏葉 京都市立山階小学校5年

京都私立小学校連合会会長賞

鄭 和里 ノートルダム学院小学校1年

京都新聞賞

坂田 歩実 京都市立春日野小学校6年

NHK京都放送局局長賞

安食 帆香 木津川市立梅台小学校2年

優秀賞

楠田 真子 京都市立元町小学校4年

佐々木 辰知 京都市立明徳小学校1年

野黒 鈴加 京都市立御堂小学校6年

高木 葵 京都市立西京極小学校3年

西田 陽貴 木津川市立梅台小学校2年

平山 嵐上 精華町立精北小学校1年

浜田 遊那 精華町立精北小学校2年

三崎 麻耶 精華町立東光小学校2年

東本 莉央 相楽東部広域連合立和東小学校1年

福嶋 唯乃 南丹市立八木西小学校1年

山内 月然 鞍部市立西八田小学校4年

伊藤 城汰 宮津市立吉津小学校1年



京都府教育委員会教育長賞「みんなでごはん」
相楽東部広域連合立和東小学校1年 塚本 菜月



入賞作品の展示(府庁2号館展示ロビー)

佳作

広瀬 心優 京都市立二和小学校3年

和田 涼太郎 京都市立大原小学校2年

山本 奈太 長岡京市立長法寺小学校1年

中村 優樹菜 宇治市立大久保小学校2年

上野 美羽 城陽市立今池小学校4年

小松 頼礼 京田辺市立普賢寺小学校5年

服部 結有 木津川市立木津小学校6年

太田 暁琉 精華町立精北小学校4年

稲垣 善音 精華町立精北小学校1年

野村 和志 精華町立東光小学校4年

大東 けやき 相楽東部広域連合立南山城小学校2年

平山 琴乃 亀岡市立保津小学校3年

山内 咲奈 南丹市立園部小学校2年

石崎 日菜 福知山市立金谷小学校4年

上田 真夢 宮津市立吉津小学校5年

平成29年度 京都府青少年すこやかフォーラムを開催しました!

京都府の青少年の健やかな成長を願い、青少年を巡る喫緊の課題について、青少年育成関係者みんなで「学び、考え、行動する」機会としてフォーラムを開催しました。

日時 **3月11日** 13時20分～15時20分

場所 **南丹市国際交流会館(コスモホール)**

内容 **「叱らなくても子どもは伸びる
～目から鱗の子育てと家庭教育～」**
教育評論家 親野 智可等氏



祝辞感想

親野先生の巧みな話術は参加者の心を掴みました。多くの親が戸惑う日々の子育て、今回の講演は、子どもの時期にすることは、鉄ではなく白刃肯定力と他者信頼感を育むことがとても大切なこととして、先生からは、「具体的にこうしてみたら」と話していただき、すぐに実践できる具体的な解決策を教えてくださいました。主な内容として、

- ・子どもの短所ばかりに注目しているとよい芽は出ない。目をつむる決意が大事です。
- ・子どもの言葉を否定しないで、共感しながらたっぴり聞いてあげてほしい。アドバイスはその後から。
- ・子どもの成長は百人百様で、独自のオリジナルな成長ペースがあり、待てる親になってほしい。
- ・はめることの大切さはわかっているけど、なかなかできない人へのおすすめは、部分をほめること。等先生の話られた言葉から、子どもが伸び伸びと育つことができるよう、「共感」することの大切さを実感し、教育・家庭・社会にとっても役立つことに改めて気づくことができました。

京都府青少年育成功労者等表彰!

平成29年11月25日(土)、京都府公館において、青少年の健全な育成に功労のあった個人・団体の功績を称え、他の模範となる活動を行った青少年や団体、青少年健全育成功労者等表彰式が開催され京都府知事から表彰状及び記念品が贈呈されました。



表彰を受けられた方々
(敬称略・50音順)

青少年育成部門(個人)

| | | |
|---------|---------|-----------|
| 芦田 文林忠 | 徳田 仕 奈 | 西川 知 孝 |
| 天野 清 子 | 巖 繁 行 | 辰谷川 明 子 |
| 井 志 秀 隆 | 高 橋 芳 子 | 波多野 基 子 |
| 梅 澤 秀 明 | 田 中 益 一 | 福 井 純 史 |
| 浦 上 潔 子 | 谷 口 真 | 安 田 茂 大 |
| 櫻 原 良 | 山 村 忠 男 | 山 崎 伊 佐 緒 |
| 川 端 洋 | 岩 岡 忠 夫 | 吉 岡 広 幸 |
| 志 多 俊 夫 | 中 村 邦 夫 | 渡 邊 郁 代 |
| 木 村 道 男 | 西 満 夫 | 池 邊 潤 隆 |

青少年育成部門(団体)

京丹後市スポーツ少年団
卜崎少年補習委員会 修二支部
城陽市青少年健全育成市民会議久世校区会議
伏見少年補習委員会 南浜支部

青少年部門(個人) 青少年部門(団体) 営業者部門(個人)

齋藤 紉 子 京都学生祭典実行委員会 若林 健 治
吉田 悠 紉 子

平成29年度 いじめ・非行防止フォーラム

府内の各教育局と連携(共催or後援)し、本年度も「いじめ・非行防止フォーラム」を開催しました。



乙訓「いじめ・非行防止フォーラム」

平成29年7月1日(土)長岡京市立中央公民館<参加者278名>

山城「やましろ未来っ子
みんなでHUGフォーラム」

平成29年8月27日(日)久御山町中央公民館<参加者470名>

南丹「なんたん子育てフォーラム」

平成29年6月25日(日)京都学園大学<参加者290名>

中丹「みんなでコラボin中丹」

平成29年6月24日(土)舞鶴市中総合会館<参加者350名>

丹後「丹後はぐくみフェスティバル」

平成29年9月30日(土)野田川わーくばる<参加者500名>

青少年育成市町村民会議の活動紹介[北から南から]

南丹市青少年育成協会 (会長 木村 義二)

南丹市青少年育成協会は平成20年に設立され、市内の関係団体から選出いただいた22名の理事で構成されています。

毎年夏に市教育委員会と合同で開催する「南丹市子どもの主張大会」の入賞者の数々は、ほぼ毎年「少年の主張大会京都府大会」でも入賞・佳作に選出されています。

また、「あいさつ運動キャンペーン」として、市内の小学生を対象に募集した標語の入選作品を、のぼりやポケットティッシュ等の啓発グッズとして作成し、市民生児童委員との連携で朝の登校時に声掛け活動を行っています。

これらの他にも、市PTAの協力を得て夏休み夜間に行う「青少年育成指導パトロール」や、市図書館との連携で絵本作家をお呼びする「オーサービジット事業」を継続して行っており、今後も市内の関係団体等と連携を深めて、地域総がかりで青少年の健全育成活動に取り組んでいきます。

(事務局：南丹市教育委員会社会教育課内)



南丹市子どもの主張大会



オーサービジット事業
(絵本作家 高島 那生さん)



あいさつ運動啓発標語
入賞作品作者との記念撮影
(のぼりは本年度最優秀作品)

向日市青少年健全育成連絡協議会 (会長 田中 益一)

向日市青少年健全育成連絡協議会は、昭和60年に「青少年健全育成活動を進めるため、関係団体が連携し、各団体の活動をいっそう促進するとともに、相互に連絡協議して青少年の健やかな成長を図る事業を推進すること」を目的として、市内の青少年関係団体により組織されました。

現在では、向日市立小中学校校長会、向日市PTA連絡協議会、ボーイスカウト向日第1団、向日市老人クラブ連合会、向日市少年補導委員会、向日市スポーツ少年団、向日市子ども会育成連絡協議会、物集女青少年健全育成会議など、24団体で構成されています。

毎年の主な活動として、11月に開催されている、「向日まつり」(2日間)において、開場時に啓発用ティッシュを配布するとともに、啓発展示コーナーを設け、各種団体の活動やPR、イベント等に取り組んでいます。

3月には本市の中学校3校、高等学校2校(府立1、私立1)と市民の吹奏楽団による「市民ふれあいコンサート」を開催しており、高等学校が中心となって企画を進め、当日の運営は市民楽団が指導にあたり、出演する中学生にとって有意義な体験ともなっています。

また、加盟団体と一般市民を対象に、研修会を開催しています。内容は、「非行防止」、「基本的な生活習慣」、「携帯電話・スマートフォン」、「子育て」等々、社会的な問題と関連したテーマを取り上げています。

今後も引き続き青少年の健全育成活動の推進に取り組んでまいります。

(事務局：向日市教育委員会生涯学習課内)



青少年関係団体の活動紹介

「愛の一声」運動で青少年の健全育成・非行防止を

京都府少年補導連絡協議会 副会長 中嶋 守
(福知山市少年補導委員連絡協議会会長)

福知山市少年補導委員連絡協議会は、昭和55年に福知山市少年補導委員の街頭補導活動の充実・研修会等への積極的参加・相互の連携と親睦を図るために結成されました。

現在、会長以下92名の少年補導委員が、次代を担う青少年の健全育成のため積極的に研修に参加し、資質向上を図るとともに、自覚と誇りを持ち、市内を巡回して青少年に「愛の一声」をかけて助言や指導をする街頭補導活動、各種イベント等の開催時や通学列車添乗による特別補導活動、青少年を取り巻く社会環境の整備のため店舗等に協力を依頼する社会環境浄化活動、青少年の健全育成・非行防止等の問題に関する相談活動等を行っています。

また、年1回、機関紙「補導だより」を発行し、学校・保護者・関係機関・関係団体等に配布して広報活動を積極的に展開しています。



福知山市少年補導委員委嘱状交付式並びに研修会



公益財団法人京都市ユースサービス協会

ユースサービスというのは、主にヨーロッパ圏で展開されてきた、若者の成長支援の営みの総称です。京都市ユースサービス協会は、ユースサービスの考え方に依拠しながら京都の若者の成長を支えてきました(今年で30周年を迎えます!)。大事にしていることは、若者の自発性を大事にすること、若者個々の価値観や考え方を尊重すること、若者に対する偏見を持たないで関わることで、若者の表面的な態度を変えようとするというよりは、その行動の背後にあるものを捉えながら、若者の成長と、若者を支える社会づくりを目指しています。



中学生がサンタになってゴミ拾いしながら大行進!



こんな風に「相談」が始まる...



中学生学習支援



ダンスのワークショップ!

ユースサービス協会は、若者の自主的な活動を応援しています!



京都府からの
お知らせ

～「青少年の健全な育成に関する条例」が
一部改正されました

スマートフォンや携帯電話のフィルタリングを利用する青少年の数が伸び悩んでいる一方、ネットを介して子どもが何らかの被害に遭う事例は全国的に増加しています。

警察庁の調査では、ネットを通じて被害に遭った人の約9割がフィルタリングをかけていませんでした。

こういった状況から、より一層のフィルタリング促進を図るため、「青少年インターネット環境整備法」が改正され、この法改正にあわせて、京都府においても「青少年の健全な育成に関する条例」を一部改正しました。

法の改正により、携帯事業者には、青少年に対するフィルタリングの説明義務に加えて、フィルタリングを機器で使えるようにする有効化義務が課されるとともに、条例の改正により、フィルタリング等に関する説明義務に加え、保護者に対し、有効化措置についても説明した内容について書面で交付する義務が課されるようになりました。

～今年も、「青少年いいねット京(みやこ)フォーラム」が開催されます。

平成30年8月1日(水)13:00～16:00 京都市内

ネットの利用方法について、大人と子どもと一緒に考えましょう～

一方、インターネットは私達の生活に様々な形で関わりを持つようになっており、その使い方について、しっかりと考えていく必要があります。

一昨年に発足した「オール京都で子どもを守るインターネット利用対策協議会」では、毎年「青少年いいねット京(みやこ)フォーラム」を開催しており、スマホの使い方、危険性を大人と子どもが一緒になって考えています。

今年の夏には、第3回「青少年いいねット京(みやこ)フォーラム」が開催します。
みんなでネットの正しい使い方について考えてみませんか？



報告
協会からの

平成29年度 青少年育成市町村民会議懇談会を開催しました。

今年度も、府内4会場で青少年育成市町村民会議懇談会を開催しました。

懇談会では、各団体の本年度の取組等について交流すると共に、NTTドコモの協力を得て、2会場で「スマホ・ケータイ安全教室」を、山城南会場では、会場を提供いただいた府立山城郷土資料館の展示を見学させていただきました。

また、与謝野町から質問のあった「団体が行われている講演会等の演題、講師等」について、一覧表を作成し、後日配布させていただきました。



【山城北】

宇治市・城陽市・久御山町
平成29年6月28日(水) <久御山町コンベンションホール> 参加者52名
※宇治・城陽・久御山青少年健全育成連絡協議会総会を懇談会に位置付けました。

【山城南】

八幡市・京田辺市・木津川市・井手町・宇治田原町・精華町・笠置町・和束町・南山城村
平成29年7月13日(木) <京都府立山城郷土資料館> 参加者28名

【乙訓・南丹】

向日市・長岡京市・大山崎町・亀岡市・南丹市・京丹波町
平成29年7月6日(木) <京都府亀岡総合庁舎> 参加者22名

【中丹・丹後】

綾部市・舞鶴市・京丹後市・伊根町・与謝野町
平成29年6月30日(金) <京都府宮津総合庁舎> 参加者17名
※宮津市からオブザーバーとして参加していただきました。

～京都府消費生活安全
センターからのお知らせ～

若年者ネットトラブル対策サイト
「キミは頼れる探偵くん」オープン!!



京都府消費生活安全センターと(一社)日本オンラインゲーム協会・京都大学推理小説研究会による
異色のコラボで制作したミステリーWebマンガ!!

「キミは頼れる探偵くん」
<http://kimitan.pref.kyoto.jp/>

～潮騒の聞こえる宿泊施設～

京都府立青少年海洋センター マリンピア



〒626-0068 京都府宮津市宇田井382
TEL 0772-22-0501
FAX 0772-22-0503
URL <http://marinpia.jp/>



未来ある青少年が海に親しみながら、研修と海洋活動を通して心身を鍛えるときにも心豊かに育って行くことを願う、京都府で唯一の海洋活動施設です。

京都市内から車で1時間45分!!
神戸・大阪から車で2時間!!

宿泊施設

宿泊定員 225名(大人)

- 宿泊室 宿泊室20室(1室定員10名)
リーダー室5室(1室定員5名)
- 談話室・浴室・シャワー室等

研修施設

- 講堂 (200名収容)
- 研修室4室 (20名収容2室・40名収容2室)

食堂

■ 収容人員 220名(最大266名)

活動施設

- 芝生の広場 ■ フィールドアスレチック
- 体育館 ■ ファイヤーサイト ■ 野外炊事施設 **NEW**
- トレーニング場 **NEW** ■ ボルダリング場 **NEW**

その他の活動

- カッター
- 磯観察等



学校・親子行事・クラブ合宿から、
一般の方々のサークル活動等に利用しませんか!
～お気軽にご相談ください～



アクセスのご案内

- お車で
 - ・京都から 1時間45分
 - ・大阪・神戸から 2時間
(中尾自動車道・舞鶴石浜自動車道経由)
 - ・米原から 2時間30分
(北陸自動車道・舞鶴石浜自動車道経由)
- ※京都圏自動車道 宮津大橋ICから約20分
- 列車で(京都府後援交通機関未定)
 - ・京都から 2時間
 - ・大阪から 2時間10分
(JR瀬田山越線・京都丹後鉄道宮前線経由)
- ※京都丹後鉄道宮津駅から路線バスで20分
マリンピア前下車

宿泊料金表

| 区分 | 宿泊料 | ※施設利用料 別途 | |
|-----|--------|--------------------|--------------|
| | | 冷暖房料 1人 200円 | 宿泊利用者 食卓料 |
| 小学生 | 700円 | | 朝食 410円 |
| 中学生 | 900円 | | 昼食 660円 |
| 高校生 | 1,200円 | | 夕食 970円 |
| 一般 | 2,300円 | | |

マリンピア主催事業報告

平成29年11月3日(土)～4日(日)「チャレンジ漁業体験パート2」を開催。
漁業体験の後、とれたて魚の朝食等、盛り沢山の体験ができました。



出漁準備



漁業体験



海へ出発

平成30年1月20日(土)～21日(日) 地域スポーツ団体合同事業「親子のつどい」を開催。
クラフト漁具・ペン立ての作成等、親子の触れ合いを楽しみました。



全員集合



クラフト制作



スカットボール

リニューアルオープン記念イベント 開催!!

当日は、施設を無料開放します。春の気持の良い潮風を感じながら、新しくなったマリンピアに遊びに来てください。盛りだくさんのメニューで皆様をお待ちしています。

リニューアルオープン施設
■ ボルダリング場(トレーニング場) ■ 野外炊事施設
■ 体育館(向かいの宗門「タックル」アリーナ)

日時 平成30年 4月29日(日・祝) 午前10時～午後3時
場所 京都府立青少年海洋センター「マリンピア」
内容 リニューアル施設の体験 レスリング教習等

平成30年4月
リニューアルオープン

- 野外炊事場新設
- ボルダリング場新設ほか



イメージ写真

INFORMATION

平成30年度 **第40回 少年の主張京都府大会を開催します**

日時 平成30年 **9月23日** (日・祝)

会場 京都府立総合社会福祉会館 [ハートピア京都]

*応募対象は、京都府内の中学校及び特別支援学校中等部に在籍している生徒。
応募締切は、平成30年8月3日(金)

平成30年度 **第22回 「明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」 事業を実施します**

*応募対象は、京都府内の小学校及び特別支援学校小学部に在籍している児童。
応募締切は、平成30年9月10日(月)

ご利用ください



青少年スマホ・
ケータイ安全教室

携帯電話等によるトラブルの被害から青少年を守ることを目的として、「青少年の健全な育成に関する条例(フィルタリング規制)」の周知徹底を図る「スマホ・ケータイ安全教室(講師派遣)」を開催します。

受講対象は、小・中・高等学校の児童生徒とその保護者・教職員等です。随時受け付けておりますので、協会事務局までご連絡ください。



啓発資材等の
貸出



啓発教材等の貸出を行っております。
ご利用は、協会事務局までご連絡ください。

- 1 視聴覚教材(DVD等)
- 2 明るい家庭づくり運動パネル
- 3 大人が変われば子どもも変わる運動パネル
- 4 のぼり、横断幕



あしがき

昨年9月、協会は創立50周年を迎え、10月22日(日)に京都パルスプラザ「稲盛ホール」において記念大会を開催しました。

予想もしなかった総選挙に加え、季節外れの台風が接近するという厳しい状況の中でしたが、多数の府民の皆様にご参加いただき、次の半世紀の青少年育成府民運動のスタートを切ることができました。

協会の事務局職員一同、決意を新たにしているところです。

この広報誌が、青少年健全育成府民運動の一助になることを願い、更に充実させていきたいと思っております。皆様からの積極的な寄稿、情報提供をよろしくお願ひします。

*表紙の題字「わかもの京都」は、
当協会の顧問会長に書いていただきました。

会員募集中

(公社)京都府青少年育成協会では、次代を担う青少年の健全育成を図るため、府民総ぐるみの育成運動を進めています。

この趣旨にご賛同・ご協力いただける会員を募っています。

正会員 協会の目的に賛同される個人又は団体会費(年額) 個人2,000円 団体3,000円

賛助会員 協会の目的に賛同される個人又は団体会費(年額) 1口 2,000円

**問合せ
申込先** (公社)京都府青少年育成協会
京都市上京区出水通油小路東入
丁子風呂町104-2 京都府庁西別館内
TEL:075-417-0602 FAX:075-417-0603
e-mail:kpyda@cello.ocn.ne.jp